

この度、第 120 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

企業の景況感は、製造業、非製造業ともに一進一退の状況が続いている。

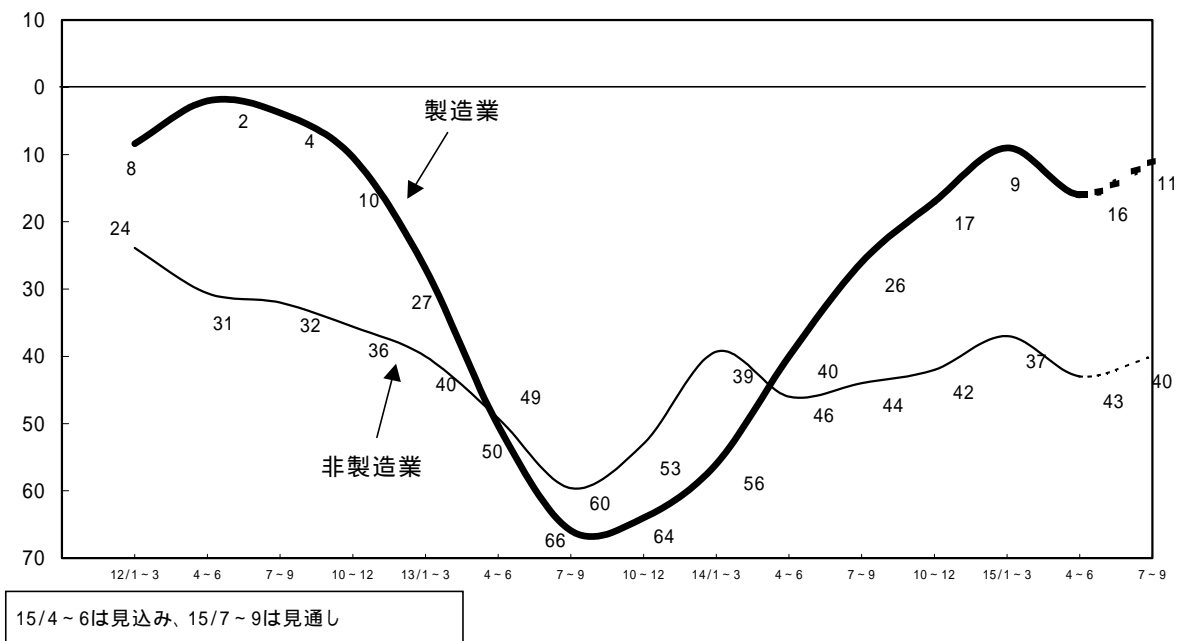
今期(15年4～6月期)の業況判断D.I.値は、製造業が16、非製造業が43となった。前期(15年1～3月期)に比べ、製造業が7ポイント、非製造業は6ポイントそれぞれ悪化した。

来期(15年7～9月期)は、製造業が11と今期に比べ5ポイント、非製造業は40と3ポイントそれぞれ改善する見通しである。

製造業では、イラク戦争終結後も回復力に乏しい世界経済や株価の低迷などを背景に、景況感は悪化に転じた。一方、非製造業では、個人消費など内需の弱さから、厳しい状況が続いている。

先行きについては、景況感はやや改善する見通しとなっているものの不透明感は依然として根強く、横ばい圏の動きが続くとみられる。

業況判断D.I.値



2. 概要

(1) 製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期(15年4～6月期) 16と前期比7ポイント低下し、7四半期ぶりに悪化に転じた。業種別にみると、化学品、プラスチック、その他製造を除きすべての業種で悪化した。

来期(15年7～9月期)は今期見込みを5ポイント上回る見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 11と前期実績を10ポイント下回った。業種別にみると、飲・食料品、プラスチックを除きすべての業種で悪化した。また、水準D.I.値の今期見込みは3と前期実績を13ポイント下回った。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは69%と前期実績を4ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは27と前期実績を9ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは 8と前期実績を6ポイント上回った。また、適正水準比D.I.値の今期見込みは17と前期実績を4ポイント上回った。業種別にみると、一般機械、輸送用機械などの業種で過剰感が強まっている。

(2) 非製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期(15年4～6月期) 43と前期比6ポイント低下し、4四半期ぶりに悪化に転じた。業種別にみると、運輸、サービスがやや改善したものの、建設、卸売、小売は悪化した。

来期(15年7～9月期)は 40とやや改善する見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 27と前期実績を8ポイント下回った。また、水準D.I.値の今期見込みは 6と前期実績を14ポイント下回った。業種別にみると、運輸を除きすべての業種で前期実績を下回るなど、厳しい状況が続いている。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは51%と前期実績と同ポイントとなった。また、投資額D.I.値の今期見込みは28と前期実績を4ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは 16と前期実績を8ポイント上回った。また、適正水準比D.I.値の今期見込みは10と前期実績を3ポイント上回った。

3. 調査結果

(1) 製造業

今期実績見込み(15年4～6月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	16	前期比	-7	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	11	前期比	-10	ポイント
	(水準D.I.値)	3	前期比	-13	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	69 %	前期比	+	4
	(投資額D.I.値)	27	前期比	+	9
・雇用	(増減D.I.値)	8	前期比	+	6
	(適正水準D.I.値)	17	前期比	+	4

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(15年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	11	前期比	+	5	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	5	前期比	+	6	ポイント
	(水準D.I.値)	9	前期比	+	6	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	66 %	前期比		-3	ポイント
	(投資額D.I.値)	23	前期比		-4	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	13	前期比		-5	ポイント
	(適正水準D.I.値)	15	前期比		-2	ポイント

(2) 非製造業

今期実績見込み(15年4～6月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	43	前期比	-6	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	27	前期比	-8	ポイント
	(水準D.I.値)	6	前期比	-14	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	51 %	前期比		0
	(投資額D.I.値)	28	前期比	+	4
・雇用	(増減D.I.値)	16	前期比	+	8
	(適正水準D.I.値)	10	前期比	+	3

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(15年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	40	前期比	+	3	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	23	前期比	+	4	ポイント
	(水準D.I.値)	2	前期比	+	4	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	44 %	前期比		-7	ポイント
	(投資額D.I.値)	15	前期比		-13	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	18	前期比		-2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	8	前期比		-2	ポイント